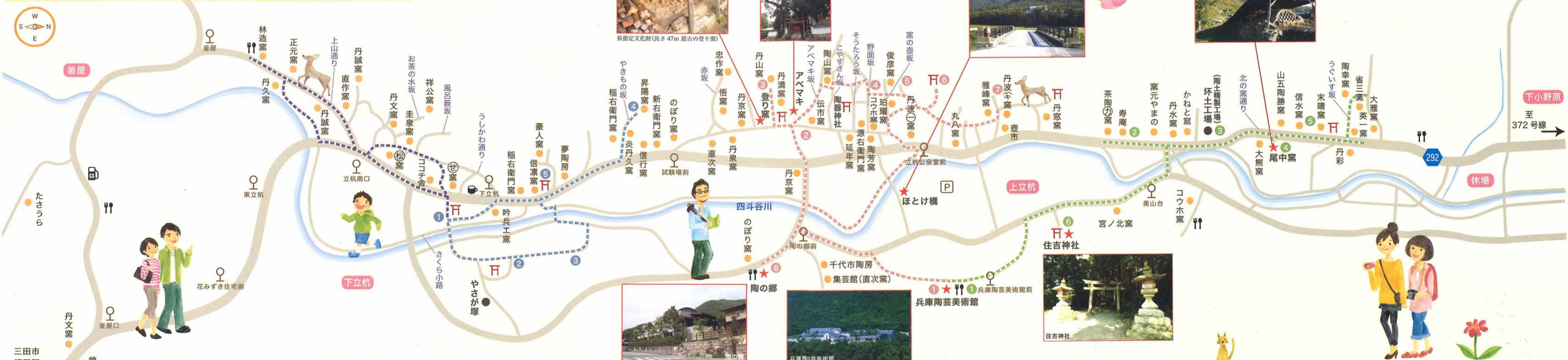


丹波焼の郷 窯元路地歩きマップ



丹波焼とは

丹波焼は、平安時代末期に発祥したとされ、瀬戸・常滑・信楽・備前・越前とともに日本六古窯（にほんろっこよう）の一つに数えられています。桃山時代までは「穴窯」が使用されていましたが、慶長16年(1611)ごろ半地上の「登り窯」が導入され、同時期に取り入れられた蹴りロクロ（日本では珍しい丹波独特の左回転ロクロ）により、産地の発展を遂げました。当初は、壺や甕（かめ）すり鉢などが主製品でしたが、江戸時代前期小堀遠州等の指導により、茶入・水指・茶碗などの茶器類に多く名品を生み、後期には篠山藩の保護育成により、直作、一房、花遊、一此等の名工が腕を競って、丹波焼の名を高めました。窯が開かれてからおよそ800年、陶器ならではの、温かみがあり、素朴な「生活用器」を今日まで焼き続けております。

立杭とは

立杭は、兵庫丹波の南西部に位置し、四斗谷川に沿う南北に長い溪で、西に和田寺山、東に虚空蔵山があります。その谷間の集落、上立杭・下立杭を中心に約60軒の窯元があり、窯の大部分は西側の山の斜面に設けられています。里の中を歩くと、丹波焼と結びついた風景をあちこちに見ることができます。日常の生活をおくる里の中に溶け込んだ窯場の風景は、懐かしくも新しい、まさに生きている博物館といえます。

ルート③：丹波焼と里山自然コース
(基本コース)

所要時間：約1時間
歩行距離：約1km

田園風景広がる
里山をゆったりと歩きながら窯元を巡る

1	2	3	4	5	1
下立杭公民館	金比羅神社	里山を歩く	やきもの坂	窯元探訪	下立杭公民館
4分	5分	10分	5分	3分	

ルート②：丹波焼の郷 窯元路地歩きコース

所要時間：約1時間30分
歩行距離：約2km

昔ながらの町並みと
田舎道が残る
やきものの郷歩き

1	2	3	4	5	6	7	8
兵庫陶芸美術館	おみの木(アベマキ)	登り窯	窯元工房見学	休憩	大正稲荷	折り返し	陶の郷
9分	3分	3分	1分	2分	3分	11分	

ルート①：北の窯巡りコース

所要時間：約1時間
歩行距離：約2km

個性的な窯元が
並ぶ立杭北部を
歩くコース

1	2	3	4	5	6	1
兵庫陶芸美術館	窯元めぐり	坏土工場	尾中窯	窯元めぐり	住吉神社	兵庫陶芸美術館
11分	4分	3分	1分	17分	5分	



和田寺

下小野原
至
372号線

休場

